ーの破損です。[皮膚、衣類等をはさむ恐れがありますので、すぐに使用を中止してください。]
・通常、圧力設定は「6.0kPa」以下で使用してください。[特にお肌の弱い方は、圧迫痕が残ることがあります。]
・高齢者の方は「ハイパーモード」または「コースモード」で使用しないでください。また、圧力設定は「6.0kPa」以下で使用してください。[事故につながることがあります。]

(4) 使用後及び保管の注意事項

・使用後は、プリセットボタンを押し、プリセット LED を消灯(設定内容否記憶)にさせてから電源スイッチを「○」(OFF)にして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。[事故につながることがあります。]
・電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、電源コードを持って引き抜かないでください。また、電源コードを無理に曲げたり、重い物を載せないでください。
・カフに取付けられているホースは、伸ばした状態か、ゆるく巻いた状態で保管してください。
・ホースは折り曲げたり、重い物を載せたりした状態で保管しないでください。[ホースに折れや潰れ癖がつくと、加圧・除圧が正常に行われず身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
・本体およびカフが汚れた場合は、蒸しタオルで拭いて、良く乾かしてください。
・各部の汚れをとった後は、直射日光の当たる場所や湿度の高い場所を避けて保管してください。
・本体を保管するときは、電源コードを本体に巻かないでください。[電源コードの接続部が断線し、火災や感電の原因になります。]

****【保管方法及び有効期間】**

(1) 保管方法
水濡れに注意し、直射日光の当たる場所や温度、湿度の高い場所を避けて保管のこと。
保管条件：周囲温度-10～60℃、湿度 10～90%
(結露なきこと)
(2) 耐用期間[自己認証(当社データ)による]
本　体　　6 年

【取扱い上の注意】

(1) 取扱いを間違えると不具合を生じることがありますので、使用方法、使用上の注意等を厳守してください。
(2) 消耗品および寿命の終わった本体の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄してください。

【保守・点検に係る事項】

(1) 常に使用前後の点検を励行し、故障又は異常が認められた場合には、販売店または製造販売元に点検修理を依頼してください。
(2) 機器は、改造しないでください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元　日東工器株式会社
住　　所　〒146-8555
東京都大田区仲池上 2-9-4
電　　話　03-3755-1111
F　A　X　03-3755-5294

製 造 元　栃木日東工器株式会社

発 売 元　ミナト医科学株式会社
住　　所　〒532-0025
大阪市淀川区新北野 3 丁目 13 番 11 号
電　　話　06-6303-7161

LQ07212-4

**2022 年 5 月（第 5 版）
*2017 年 4 月（第 4 版）

医療機器認証番号：225AHBZX00021000
類別：機械器具 77 バイブレーター
管理医療機器　一般的名称：家庭用エアマッサージ器(JMDN コード 34663000)

ラクシア

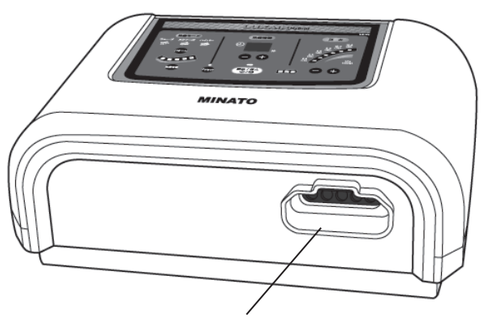
【警告】
次の人は、本機の使用を禁止します。
・医師からマッサージを禁じられている人
(例：血栓(塞栓)症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症[皮下組織の炎症を含む]など)
・発症後 6 ヶ月以内の下肢深部静脈血栓症を患っているか、もしくはその恐れのある場合。
※「下肢深部静脈血栓症」とは、下肢全体または膝より下が腫れ上がって痛みがあり、立ったり歩いたりすると痛みが強くなる自覚症状のあることをいいます。
・装着部位におでき、やけど、虫さされなどの急性炎症や化膿性疾患がある場合。
本機の改造、分解、修理は絶対にしないでください。[事故の原因になります。]

【禁忌・禁止】
他の治療器と同時に使用しないでください。
[本機の効果が十分発揮できないばかりか、身体に悪影響を及ぼす原因になります。]

【形状・構造及び原理等】
本機は機能により以下の機種を設定しています。

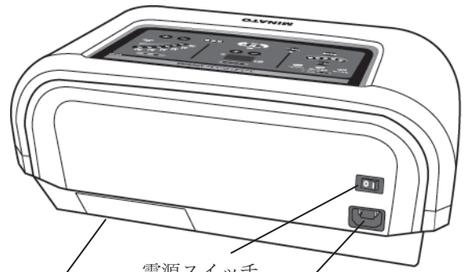
機　能	機　種	
	LX-H1	LX-1
4 モードマッサージ	○	○
加圧気室選択	○	—
バッテリー搭載	○	—

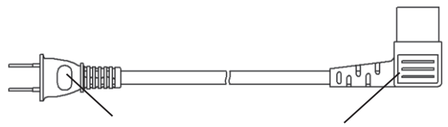
〈本体〉
正面



エアーソケット

背面

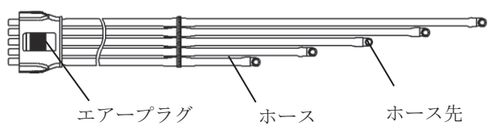




本体の寸法及び質量
・寸法　幅 400×奥行 226×高さ 194(mm)
・質量　LX-H1　：5.8kg
LX-1　　：5.6kg

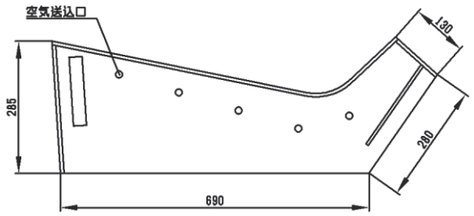
電気的定格
・外部電源　AC100V (50/60Hz)
・内部電源　リチウムイオン蓄電池(LX-H1 のみ)
DC11.1V/2,500mAh 又は 5,000mAh
・定格消費電力　LX-H1　：82W
LX-1　　：42W
・定格時間　30 分

〈ホース〉

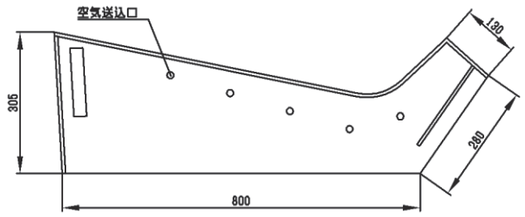


〈カフ〉

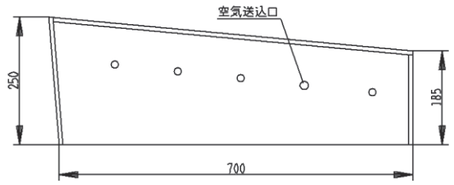
*・ブーツ(脚に装着する)



*・ロングブーツ(脚に装着する)【別売品】



・アームバンド(腕に装着する)【別売品】



動作原理

本体にはコンプレッサ、制御回路、充電回路、電磁弁、バッテリー(LX-H1 のみ)が内蔵されている。コンプレッサと電磁弁は制御回路により制御され、カフの各気室は制御回路のプログラムに従い加圧・除圧を繰り返す。圧力センサーが故障した場合、制御回路のプログラムにより停止させる。万が一、制御回路のプログラムが正常に働かなかった場合は圧力スイッチにより電源を遮断する。バッテリーは充電回路により充電され、電源スイッチが「｜」(ON)の間、充電される。

性能及び安全性に関する規格

圧力設定範囲(kPa)	2.0～12.0	
(mmHg)	15～90	
もみ上げサイクル(秒)	ウェーブモード	約 70
(ブーツ２本・圧力「6.0kPa」	スクイーズモード	約 50
のとき)	ハイパーモード	約 30

※もみ上げサイクルは、圧力設定・体型によっても変わります。

【使用目的又は効果】

あんま、マッサージの代用、一般家庭で使用する。

【使用方法等】

ご使用に当たっては、取扱説明書をよくお読みになってご使用ください。また、機器に異常がないか確認してからご使用ください。

(1) 使用時間・使用頻度

1 回の使用時間：30 分以下

使用間隔：3 時間以上

(2) 使用方法

1) 電源コードの電源コネクタを本体の AC インレットに接続し、電源プラグを電源コンセント AC100V に差込みます。
2) ホースのホース先をカフの空気送込口に接続します。
3) ホースのエアープラグを本体のエアーソケットに差し込みます。
4) 電源スイッチを「｜」(ON)にします。
5) カフを被施療部位に装着します。
6) 開始/停止ボタンを押して運転と停止ができるか確認をします。
7) ウェーブモード、圧力「2.0kPa」で加圧・除圧の順番が末梢から中枢に向かっているか確認します。
8) 治療時間、圧力、プリセット、治療モードの設定、加圧気室の選択(LX-H1 のみ)をします。
9) 運転を開始します。必要に応じて圧力の設定を変更します。
10) 使用後は、プリセットボタンを押し、プリセット LED を消灯(設定内容否記憶)にさせてから電源スイッチを「○」(OFF)にし、電源プラグを電源コンセントから抜きます。
11) 本体およびカフは、次回の使用に差支えないように保管します。

(3) 安全装置

圧力スイッチが内蔵されています。

本体の異常により圧力が上昇すると、圧力スイッチが作動し停止します。

【使用上の注意】

次の人は必ず医師と相談のうえ使用してください。

症状や病因によっては使用に適さない場合があります。

・ペースメーカなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
・悪性しゅよう(腫瘍)のある人
・心臓に障害がある人
・妊娠初期の不安定期又は出産直後の人
・糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
・皮膚に創傷のある人
・安静を必要とする人
・体温 38℃以上(有熱期)の人
(例：急性炎症症状[けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期にある人。衰弱している人。)
・骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)の骨折、ねんざ(捻挫)、肉離れなど、急性[とう(疼)痛性]疾患の人
・本機を使用しても症状の改善が見られない人
・本機の使用によりかえって疼痛の増す人
・高血圧症と診断されている人
・特に身体に異常を感じている人
・皮膚の弱い人
・施療部位に疾患から生じるむくみや疼痛のある人
・施療部位に骨折、脱きゅうのある人
・自覚症状の意思表示ができない人
・上記以外の疾患で医師の治療を受けている人
・腱鞘炎の人

(1) 使用環境及び使用条件

・浴室などの湿気の多い場所で使用しないでください。[故障・感電・火災の原因になります。]
・子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。[事故につながることがあります。]
・付属のカフまたは専用の別売品以外は使用しないでください。
・ストーブなどの火気の近くで使用しないでください。[火災・故障の原因になります。]
・他の治療器と同時に使用しないでください。[本機の効果が十分発揮できないばかりか、身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
・異なるカフを同時に使用しないでください。[事故につながることがあります。]
・治療目的以外には使用しないでください。
・自分で意思表示できない人に使わせないでください。[事故につながることがあります。]
・マイクロ波治療器が使用されている場所で使用する場合は、相互の距離を 3m 以上離してください。[事故や故障の原因になります。]
**・アームバンドは２本同時に使用しないでください。[事故につながることがあります。]

(2) 使用前の注意事項

・初めて使用する場合、または、しばらく使用しなかった場合は、取扱説明書をよく読み、正常に作動するか確認してからご使用ください。
・電源コード、エアープラグは正しく確実に接続してください。
・操作ボタン(治療時間、圧力、治療モード、開始/停止、気室選択、プリセット)および電源スイッチが正常に作動することを確認してください。
・使用前に縫製品の破れの有無を点検し、破れがあるときは使用を中止してください。
・カフを装着するときは、被施療部位のポケットなどに物が入っていないことを確かめてください。[けがをしたり、カフ破損の原因になります。]
・カフは決められた部位に装着してください。[正しい部位に装着されていない場合、身体に悪影響を及ぼしたり、事故の原因になります。]
・ホースは折れたり潰れたりした状態で使用しないでください。[加圧・除圧が正常に行われず身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
・使用前に必ず圧力設定を「2.0kPa」に設定してください。[事故につながることがあります。]

(3) 使用中の注意事項

・身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、医師と相談してください。[使用を続けた場合、身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
・本機に異常(発煙、手で触れないほど熱い、音が急に大きくなった等)を感じたときは、直ちに使用を中止し電源スイッチを「○」(OFF)にして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店に連絡してください。[使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。]
・30 分を超えての使用はしないでください。[筋肉に対して必要以上の刺激となります。]
また、次の使用までには少なくとも 3 時間以上の間隔をあけてください。
・使用中に停電した場合は、直ちに電源スイッチを「○」(OFF)にして、電源プラグを電源コンセントから抜き、エアープラグをエアーソケットから抜いてください。[事故につながることがあります。]
・使用中にカフの加圧・除圧に異常を感じた場合（加圧が異常に長い、または、除圧しない等）は、すぐに本体のエアーソケットからエアープラグを抜き、カフを被施療部位から外してください。また、本体は電源スイッチを「○」(OFF)にして電源プラグを電源コンセントから抜いてください。[使用を続けた場合、身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
・本体は使用中、操作できる所に置いてください。[事故につながることがあります。]
・使用中に立ち上がったり、歩いたりしないでください。[事故につながることがあります。]
・使用中にカフのファスナーが開く場合は、ファスナ